

箕面市立青少年教学の森野外活動センター 指定管理者候補者選定会議議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和6年（2024年）10月16日（水）午後3時から午後4時30分
- (2) 開催場所：箕面市役所 別館5階 会議室C
- (3) 出席者：藪本 正博（子ども未来創造局 局長）【会長】
浅井 文彦（子ども未来創造局 担当部長兼人権文化部長）【副会長】
岡崎 純子（国立大学法人大阪教育大学 教授）
辻 明（西小校区青少年を守る会 会長）
瀬瀬 和雅（有限責任監査法人トーマツ 公認会計士）
- (4) 事務局：子ども未来創造局青少年育成室
- (5) 応募者：一般財団法人大阪府青少年活動財団

2. 議事概要

- (1) 事務局より、当日スケジュール及び評価方法等を説明。
- (2) 応募者である「一般財団法人大阪府青少年活動財団」より提案内容のプレゼンテーション。
- (3) 主な質疑については以下のとおり。
 - (質問) 収支計画上の損益分岐点の利用者人数は何人か。また、利用者人数を増やすための方策は何か。
 - (回答) 収支計画上の損益分岐点の利用者人数は1万人と考えている。利用者人数を増やすためには、学校教育の場として活用し、子ども達の利用を増やすことが効果的と考える。さらに、子ども達が家族と一緒に利用する相乗効果も期待できる。子ども達が遊べる場所もあると利用者数が増えると考えている。
 - (質問) 子ども向けにどんなプログラムを考えているのか。
 - (回答) 忍者キャンプや虫取りキャンプなどのプログラムは継続して実施していきたいと考えている。さらに、行政やNPO法人などと連携し、不登校支援キャンプなども企画していきたい。
 - (質問) 団体が集会など行っていた管理棟南側の「つどいの広場」が、現在駐車場になっているが、今後の利用方法はどうなるのか。
 - (回答) 学校やこども会などの団体利用がある場合は、多目的広場としても利用できる。

るように調整し、団体が利用しやすいように工夫していきたい。

(質問) 市内、市外利用料金の提案をしているが、市内料金を適用する場合はどのような場合になるのか。また、市民優先予約を想定しているのか。

(回答) 代表者の住所が箕面市内であれば、市内料金を適用したいと考えている。また、市民の方が市外の方よりも早く予約できる市民優先予約も継続していきたいと考えている。

(質問) 事業計画では、常勤3人、非常勤3人となっているが、どのような役割や業務分担を考えているのか。

(回答) 常勤職員のうち1人は所長として、マネジメントの役割のほか、人員管理、予算管理、市との調整、宿直業務も含めて、様々な業務を担う。他の常勤職員も電話対応、接客対応、清掃作業、宿直業務など様々な業務を担う。業務分担はあるものの、その時の状況に応じて、柔軟に対応していく。

(質問) 大学生などを集めて、キャンプリーダーを育成していくことは大変と思うがどう対応していくのか。

(回答) 本部でキャンプリーダーを育成しているので、団体利用などがある時に、本部から派遣する形式で、キャンプリーダーを活用していくことを考えている。

(4) 各評価者の主な意見

- ・キャンプリーダーを活用する提案を評価する。自然体験学習など、箕面の教育にも寄与する提案内容になっている点が良いと感じた。
- ・青少年健全育成の理念に基づき、子どもたちが自然に親しみやすく、市民が利用しやすい内容になっている点が良いと感じた。
- ・市の方でも、収支計画書に記載の需要予測などについて確認し、助言指導して欲しかった。
- ・指定管理料も収入として見込めるので、収支計画は一定評価できる。宿泊利用者数の計画については、利用者数を増やす工夫をした運営を目指して欲しい。

(5) 選定会議としての結論

- ・評価点数：1,000点／1,500点（構成員平均 200点／300点）
- ・審査結果：箕面市立青少年教学の森野外活動センター指定管理者候補者として一般財団法人大阪府青少年活動財団は適任である。